



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本コークス工業株式会社  
 コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役人事・総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西尾 仁見  
 (氏名) 鍛冶屋 和博

TEL 03-5560-1311

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	23,512	△8.7	1,091	△53.1	844	△60.6	546	△56.9
26年3月期第1四半期	25,752	△11.6	2,326	248.9	2,144	337.3	1,268	279.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 574百万円 (△58.2%) 26年3月期第1四半期 1,375百万円 (256.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.81	—
26年3月期第1四半期	4.20	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	113,914	41,953	36.7
26年3月期	115,263	42,262	36.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 41,838百万円 26年3月期 42,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,000	△3.1	2,600	△28.7	2,100	△35.0	1,200	△36.8	3.98
通期	103,000	△5.5	5,800	△19.9	4,700	△23.8	2,300	△24.1	7.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	302,349,449 株	26年3月期	302,349,449 株
27年3月期1Q	627,020 株	26年3月期	626,707 株
27年3月期1Q	301,722,629 株	26年3月期1Q	301,727,842 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続き、企業収益や設備投資についても改善が見られましたが、海外景気の下振れリスクが依然として存在する状態で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、原料炭価格の下落等の影響を受けて販売価格が下落したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比22億4千万円減少の235億1千2百万円となり、利益面では、原料コスト削減のために低品位原料炭の使用拡大などに取り組んだものの、割高な原料炭在庫の使用影響などにより、連結営業利益は、前年同期比12億3千5百万円減少の10億9千1百万円、連結経常利益は、前年同期比12億9千9百万円減少の8億4千4百万円となりました。

なお、四半期純利益は、前述の理由のほか、法人税等の影響により、当第1四半期連結累計期間は、前年同期比7億2千1百万円減少の5億4千6百万円となりました。

#### (セグメントの概況)

コークス事業につきましては、前述の理由などにより、売上高は、前年同期比29億6千2百万円減少の137億4千1百万円、営業利益は、前年同期比12億7千4百万円減少の10億2百万円となりました。

燃料販売事業につきましては、売上高は、前年同期比11億8千万円増加の71億2千6百万円、営業利益は、前年同期比1億3千3百万円増加の5億3千5百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比6億2千9百万円減少の12億1千5百万円、営業損失は、1億6千2百万円（前年同期は4千2百万円の営業利益）となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比1億7千1百万円増加の14億2千8百万円、営業利益は、前年同期比7千5百万円増加の7千6百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,139億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億4千9百万円減少となりました。増減の主なものは、商品及び製品の増加10億2千7百万円、現金及び預金の増加4億1千1百万円、受取手形及び売掛金の減少26億3千8百万円、機械装置及び運搬具の減少7億1千9百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、719億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ10億4千万円減少となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加28億4千8百万円、長期借入金の増加12億4千4百万円、支払手形及び買掛金の減少34億1千万円、未払法人税等の減少13億1千5百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、26年3月期の配当金などにより、前連結会計年度末に比べ、3億8百万円減少の419億5千3百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表した平成26年3月期決算短信において、連結業績予想値は、「当社の中核であるコークス事業の原料炭の価格取り決め期間が、四半期単位となっているため、原料炭価格およびコークス販売価格ともに第1四半期価格水準に足下の価格変動リスクを一定程度織り込んで算定」として公表いたしました。

その後、第2四半期の原料炭価格が決定し、かつ、コークス販売価格についても、一定の見通しを得るに至りました。その結果、通期業績に大きな変動はない見込みであることから、平成27年3月期の連結業績予想値は、前回（平成26年5月9日公表）の予想値と変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当該会計基準等の適用が連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,203	3,615
受取手形及び売掛金	11,209	8,570
商品及び製品	6,993	8,021
仕掛品	630	1,002
原材料及び貯蔵品	9,199	9,093
その他	3,065	3,250
貸倒引当金	△17	△13
流動資産合計	34,284	33,540
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	68,711	69,423
減価償却累計額	△43,169	△44,601
機械装置及び運搬具（純額）	25,541	24,821
土地	38,975	38,954
その他	22,570	22,874
減価償却累計額	△13,523	△13,667
その他（純額）	9,047	9,207
有形固定資産合計	73,564	72,983
無形固定資産		
その他	673	665
無形固定資産合計	673	665
投資その他の資産		
その他	6,755	6,739
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	6,741	6,725
固定資産合計	80,979	80,374
資産合計	115,263	113,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,742	13,331
短期借入金	15,064	17,913
1年内償還予定の社債	14	14
未払法人税等	1,528	212
賞与引当金	759	381
関係会社整理損失引当金	387	387
受注損失引当金	15	67
その他	6,209	6,238
流動負債合計	40,720	38,546
固定負債		
社債	72	72
長期借入金	23,207	24,451
退職給付に係る負債	4,641	4,579
役員退職慰労引当金	48	42
環境対策引当金	2,993	2,993
その他	1,317	1,275
固定負債合計	32,281	33,414
負債合計	73,001	71,960
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	33,868	33,531
自己株式	△106	△106
株主資本合計	42,511	42,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	39
繰延ヘッジ損益	△142	△172
為替換算調整勘定	115	138
退職給付に係る調整累計額	△370	△343
その他の包括利益累計額合計	△358	△337
少数株主持分	109	115
純資産合計	42,262	41,953
負債純資産合計	115,263	113,914

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	25,752	23,512
売上原価	21,920	20,982
売上総利益	3,831	2,529
販売費及び一般管理費	1,505	1,437
営業利益	2,326	1,091
営業外収益		
為替差益	20	40
その他	151	52
営業外収益合計	171	93
営業外費用		
支払利息	182	149
その他	170	190
営業外費用合計	353	340
経常利益	2,144	844
特別利益		
固定資産売却益	41	17
その他	17	0
特別利益合計	58	17
特別損失		
固定資産除却損	247	69
その他	9	15
特別損失合計	256	84
税金等調整前四半期純利益	1,947	777
法人税、住民税及び事業税	581	122
法人税等調整額	109	102
法人税等合計	691	225
少数株主損益調整前四半期純利益	1,256	552
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△12	5
四半期純利益	1,268	546



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,256	552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	1
繰延ヘッジ損益	23	△29
為替換算調整勘定	98	22
退職給付に係る調整額	—	26
その他の包括利益合計	119	21
四半期包括利益	1,375	574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387	568
少数株主に係る四半期包括利益	△12	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	16,703	5,946	1,844	24,495	1,257	25,752	—	25,752
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	0	300	300	78	378	△378	—
計	16,703	5,947	2,144	24,795	1,335	26,131	△378	25,752
セグメント利益	2,276	401	42	2,720	0	2,721	△394	2,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△394百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△398百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	13,741	7,126	1,215	22,083	1,428	23,512	—	23,512
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	293	293	31	325	△325	—
計	13,741	7,126	1,509	22,377	1,459	23,837	△325	23,512
セグメント利益又は 損失(△)	1,002	535	△162	1,375	76	1,452	△360	1,091

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△360百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△365百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。